

付議案第 35 号

教科用図書について

上記の付議案を提出する。

令和 6 年 7 月 22 日

福岡市教育委員会

教育長 石橋 正信

理由

本件は、小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部において令和 7 年度に使用する教科用図書を採択する必要があるので、福岡市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 8 号の規定により付議するものである。

教科用図書について

令和 7 年度使用小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部用教科用図書の採択を行うもの。

1 小学校用教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

令和6年度と同一の教科用図書を採択する。

		発行者名	書名	使用学年
国語	国語	光村図書出版株式会社	こくご一上 かぎぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぽぽ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	1～6年
	書写	光村図書出版株式会社	しゅしゃ一ねん しゅしゃ二ねん 書写三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年	1～6年
社会	社会	教育出版株式会社	小学社会 3 小学社会 4 小学社会 5 小学社会 6	3～6年
	地図	株式会社帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	3～6年
算数		東京書籍株式会社	新編あたらしいさんすう 1① はじめよう！さんすう 新編あたらしいさんすう 1② みつけよう！さんすう 新編新しい算数 2上 考えるっておもしろい！ 新編新しい算数 2下 考えるっておもしろい！ 新編新しい算数 3上 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 3下 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 4上 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 4下 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 5上 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 5下 考えたことがつながるね！ 新編新しい算数 6 数学へジャンプ！	1～6年
理科		大日本図書株式会社	新版たのしい理科3年 新版たのしい理科4年 新版たのしい理科5年 新版たのしい理科6年	3～6年
生活		東京書籍株式会社	どきどきわくわく 新編あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 新編新しい生活 下	1・2年
音楽		株式会社教育芸術社	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6	1～6年
図画工作		日本文教出版株式会社	ずがこうさく 1・2上 まるごとたのしもう ずがこうさく 1・2下 まるごとたのしもう 図画工作 3・4年上 ためす見つける 図画工作 3・4年下 ためす見つける 図画工作 5・6年上 わたしとひびき合う 図画工作 5・6年下 わたしとひびき合う	1・2年 3・4年 5・6年
家庭		東京書籍株式会社	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる	5・6年
保健		株式会社光文書院	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年	3・4年 5・6年
英語		東京書籍株式会社	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course 6 NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary	5・6年
道徳		東京書籍株式会社	新編あたらしいどうとく 1 新編新しいどうとく 2 新編新しいどうとく 3 新編新しいどうとく 4 新編新しい道徳 5 新編新しい道徳 6	1～6年

2 中学校教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

福岡市教科用図書調査研究委員会の調査研究報告書、学校長意見及び市民意見等を踏まえ、教育委員会において選定し採択する。

3 小学校・中学校特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部教科用図書

(1) 文部科学省検定済教科用図書

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については小学校用、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同一のものを採択する。

(2) 文部科学省著作教科用図書

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和7年度使用）に掲載の図書を採択する。

① 特別支援学校小学部知的障がい者用

種 目	発行者	番 号	図書名
国 語	東京書籍	国語C－121	こくご ☆
		国語C－122	こくご ☆☆
		国語C－123	こくご ☆☆☆
算 数	教育出版	算数C－121	さんすう ☆
		算数C－122	さんすう ☆☆（1）
		算数C－123	さんすう ☆☆（2）
		算数C－124	さんすう ☆☆☆
生 活	東京書籍	生活C－121	せいかつ ☆
		生活C－122	せいかつ ☆☆
		生活C－123	せいかつ ☆☆☆
音 楽	東京書籍	算数C－121	おんがく ☆
		算数C－122	おんがく ☆☆
		音楽C－123	おんがく ☆☆☆

② 特別支援学校中学部知的障がい者用

種 目	発行者	番 号	図書名
国 語	東京書籍	国語C－721	国語 ☆☆☆☆
		国語C－722	国語 ☆☆☆☆☆
社 会	東京書籍	国語C－721	社会 ☆☆☆☆
		国語C－722	社会 ☆☆☆☆☆
数 学	教育出版	数学C－721	数学 ☆☆☆☆
		数学C－722	数学 ☆☆☆☆☆
理 科	東京書籍	理科C－721	理科 ☆☆☆☆
		理科C－722	理科 ☆☆☆☆☆
音 楽	東京書籍	音楽C－721	音楽 ☆☆☆☆
		音楽C－722	音楽 ☆☆☆☆☆
職業・家庭	東京書籍	職家C－721	職業・家庭 ☆☆☆☆
		職家C－722	職業・家庭 ☆☆☆☆☆

③ 小学校・中学校特別支援学級については、特別支援学校小学部知的障がい者用及び特別支援学校中学部知的障がい者用として採択するものと同一のものを採択する。

小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部
「令和 7 年度使用教科用図書について」
(文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書)

資 料

資料 1 教科用図書採択方針及び採択の仕組み

資料 2 福岡市教科用図書調査研究委員会

中学校全教科調査研究報告書

資料 3 学校長の意見（中学校全教科）

教科用図書 資料 HP

資料 4 市民の意見



令和７年度使用教科用図書採択方針

(中学校、特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級)

福岡市教育委員会

Ⅰ 基本方針

- 1 採択は、関係法令、文部科学省の作成する学習指導要領等を踏まえて、公正かつ適正に行う。
- 2 本市の児童生徒の実態に即し、かつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導に際して適切であるものを採択する。
- 3 「第２次福岡市教育振興基本計画」の趣旨及び当該計画策定後のさまざまな取組みを勘案したものを選択する。
- 4 「第２次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、人権教育の実践に適したものを採択する。

Ⅱ 中学校教科用図書採択について

１ 採択に当たっての考え方

教科用図書は、「教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材」として、学校において使用されるものである。また、学校の教育課程の基準は学習指導要領の規定により編成・実施される。ついては、教科用図書の採択に当たっては、学校の教育課程の基準である学習指導要領のねらいを踏まえ、適切な教科用図書を選定することとする。

- (１) 教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

- (２) 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次に掲げる３つの事項の実現を図り、生徒に生きる力を育むことを目指すものとする。

ア これからの急激に変化する時代の中で、持続可能な社会の創り手となることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、GIGA スクール構想で配備した１人１台端末を活用しながら主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。

イ 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

ウ 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

2 各教科共通の選定の観点

(1) 内容の範囲及び程度

- ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。
- イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。
- ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。

(2) 内容に関する配慮事項

- ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。
- イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。
- ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。
- エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。
- オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。
- カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。

(3) 分量

- ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。
- イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。
- ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。

(4) 使用上の便宜

- ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。
- イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。
- ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。

(5) 印刷、製本等

- ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。

3 教科ごとの選定の観点

選定に当たっての基本的な観点は以下に示すとおりとする。

なお、文中の〔 〕で示した語句は、学習指導要領で使用されている項目である。

<国語（〔書写〕を除く。）>

【目標に関する観点】

- 1 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。
- 2 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。
- 3 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。
- 4 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。
- 5 教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材、話や文章の種類などを調和的に取り扱うこと。特に、〔思考力、判断力、表現力等〕においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。

【内容に関する観点】

- 6 《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理して伝え合う内容を検討したり、聞きながら内容を聞き取って自分の考えを形成したり、話合いを効果的に進め、お互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。
- 7 《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章の公正を検討したり、記述の仕方を工夫して自分の考えが伝わる文章にしたり、書いた文章について捉え直して分かりやすい文章に整えたり、自分が書いた文章のよい点や改善点を見い出したりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。
- 8 《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を把握したり、構成や叙述などに基づいて文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて意味付けたり考えたり、文章を読んで理解したことなどに基づいて自分の考えを形成したりする言語能力を育成することができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 9 《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。
- 10 〔知識及び技能〕に示す事項は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて

単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。

- 11 〔思考力、判断力、表現力等〕の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。
- 12 我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。

＜国語（〔書写〕）＞

【内容に関する観点】

- 1 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 2 文字を正しく整えて速く書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。
- 3 各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。
- 4 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。

＜社会（「地図」を除く。）＞

（共通）

【目標に関する観点】

- 1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。
- 2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。
- 4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。

（地理的分野）

【目標に関する観点】

- 1 地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。
 - (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。
 - (2) 地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境と環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。
 - (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

【内容に関する観点】

- 2 日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。

（歴史的分野）

【目標に関する観点】

- 1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。
 - (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。
 - (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。

【内容の取扱いに関する観点】

- 2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。

（公民的分野）

【目標に関する観点】

- 1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。
 - (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。
 - (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

＜社会（「地図」）＞

【内容の取扱いに関する観点】

- 1 地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 2 世界の諸地域については、各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できる内容になっていること。
- 3 自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、地図を活用し、日本全体としての地域的特色が大観できる内容になっていること。
- 4 国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。
- 5 資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示された内容になっていること。

＜数学＞

【目標に関する観点】

- 1 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。

【内容に関する観点】

- 2 《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、〔数学的活動〕を通して指導することができる内容になっていること。
- 3 《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。
 - (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること
 - (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること
 - (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること
 - (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること
 - (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること
 - (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること
 - (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること
- 4 《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。
 - (1) 基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解すること
 - (2) 図に表したり正しく作図したりすること
 - (3) 図形を直観的に捉えること
 - (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること
- 5 《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。
 - (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること
 - (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること
 - (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること
 - (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること
- 6 《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。
 - (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること
 - (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること
 - (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること
 - (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること

【内容の取扱いに関する観点】

- 7 〔数学的活動〕では、次の3点が重視された内容になっていること。
 - (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見出し解決する活動

- (2) 数学の事象から問題を見い出し解決する活動
 - (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動
- 8 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。
 - 9 そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。
 - 10 具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。
 - 11 〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。

＜理科＞

【目標に関する観点】

- 1 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。
- 2 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。
- 4 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。

【分野の目標に関する観点】

- 5 〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見い出し見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見い出したり課題を解決したりする力を養う。
 - (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。
- 6 〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見い出し見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見い出したり課題を解決したりする力を養う。
 - (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。

【指導計画の作成に関する観点】

- 7 各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 8 観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。
- 9 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。
- 10 観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。
- 11 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。
- 12 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などに関係していることに触れる内容になっていること。
- 13 観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。

＜音楽＞

【目標に関する観点】

- 1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるができる内容になっていること。
- 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。
- 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。

【指導計画の作成に関する観点】

- 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。
- 7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。
- 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。
- 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。
- 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。

＜美術＞

【目標に関する観点】

- 1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。
- 2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。
- 3 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。
- 4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 5 〔思考力、判断力、表現力等〕を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。
- 6 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。
- 7 《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。
- 8 《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。
- 9 〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。
- 10 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。

＜保健体育＞

（体育分野「体育理論」）

【内容に関する観点】

- 1 基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。
- 2 「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。

（保健分野）

【内容に関する観点】

- 1 「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。
- 2 個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む〔思考力、判断力、表現力等〕を育成することができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 3 小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。
- 4 ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。
- 5 体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。
- 6 自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。

＜技術・家庭＞

（共通）

【内容の取扱いに関する観点】

- 1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。
- 3 生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。
- 4 実習に当たっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。
- 5 授業時数については、いずれかの分野に偏ることのなく配当されていること。

（技術分野）

【分野の目標に関する観点】

- 1 《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。
- 2 生活や社会の中から技術に関わる問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。
- 3 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度（知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていこうとする態度等）を養うことができる内容になっていること。

（家庭分野）

【内容に関する観点】

- 1 少子高齢化社会の進展に対応して、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点を置いた内容になっていること。
- 2 食育を一層推進するために、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。
- 3 日本の生活文化に関することとして、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。
- 4 豊かな住生活に向けて、幼児や高齢者の家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空

間の整え方や安全な住まい方についての課題を解決することができる内容になっていること。

- 5 自立した消費者を育成するために、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容について、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。

＜外国語（英語）＞

【目標に関する観点】

- 1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語で育まれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 2 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。
- 3 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。
- 4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。
- 5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。
 - ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。
 - イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。
 - ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

<道徳>

【目標に関する観点】

- 1 道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。

【内容の取扱いに関する観点】

- 2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。
- 3 学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。
- 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。
- 5 生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。
- 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。
- 7 情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。
- 8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。

Ⅲ 特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級教科用図書採択について

1 文部科学省検定済教科用図書について

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については、小学校用として採択するものと同じものを、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同じものを採択する。

2 文部科学省著作教科用図書について

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和7年度使用）に掲載の図書を採択する。

3 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書について

（1）採択の基本的な考え方

特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級で使用する学校教育法附則第9条に規定する教科用図書（以下「一般図書」という。）の採択については、下学年用の文部科学省検定済教科書（以下「検定済教科書」という。）又は文部科学省著作教科書（以下「著作教科書」という。）の採択を考慮した上で実施すること。

（2）一般図書の採択について

一般図書の採択に当たっては、検定済教科書又は著作教科書に代わるものとして採択することであることから、教科の主たる教材として教育目標の達成上、適切な図書を採択すること。

下学年用の検定済教科書又は著作教科書の採択を十分考慮した上で、次の場合は一般図書を採択するものとする。

ア 特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書がない場合（学校教育施行規則第135条第2項（第89条を準用））

イ 重複障がいをもつ児童生徒への教育又は訪問による教育を行うに当たり特別の教育課程を編成する特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書を使用することが適当でない場合（同規則第131条第2項）

ウ 特別の教育課程を編成する小学校・中学校特別支援学級において、検定済教科書を使用することが適当でない場合（同規則第139条）

（3）採択に当たっての留意事項

ア 児童生徒の障がいの種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容（文字、表現、さし絵、取り扱う題材等）のものであること。

イ 「個別の指導計画」に基づく指導及び評価等に資することができるものであること。

ウ 内容が精選され、可能な限り体系的に編集されたものであり、基礎的な事柄が適切に習得されるように配慮されていること。

エ 各教科等相互の関連が図られるとともに、具体的な内容が取り上げられるように配慮されているものであること。

オ 可能な限り学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動が行えるよう配慮されているものであること。

カ 進路指導等との関連が図られ、将来の社会的自立を図るために必要な事項が適切に習得されるよう配慮されているものであること。

キ 特定の題材又は一部の分野のみ取り扱っている図書、参考書、図鑑類、問題集等は適切で

ないこと。

- ク 上学年で使用する事となる教科用図書との関連性を考慮するとともに、採択する図書の間の系統性にも配慮すること。
- ケ 情報端末機器、ビデオテープ、CD、ジグソーパズル型などは適切でないこと。
- コ 全体の分量は、児童生徒の障がいの種類・程度及び授業時数からみて適切であること。
- サ 分冊本は採択しないこと、また、高額なものに偏らないこと。
- シ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式、材料などが児童生徒の障がいの種類・程度からみて適切であること。
- ス 人権感覚に配慮した教材であること。

令和7年度使用教科用図書採択方針 (高等学校)

福岡市教育委員会

I 基本方針

- 1 採択は、関係法令や文部科学省の作成する学習指導要領等を踏まえて、公正かつ適正に行う。
- 2 本市の生徒の実態に即し、かつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導に際して適切であるものを採択する。
- 3 「第2次福岡市教育振興基本計画」の趣旨及び当該計画策定後のさまざまな取り組みを勘案したものを採択する。
- 4 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、人権教育の実践に適したものを採択する。

II 採択における留意点

教科用図書の採択に当たっては、次の留意点から検討し、最も適切と思われるものを採択する。

- 1 使用教科用図書については、「生きる力」を育むために、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力や人間性等を涵養することなどを踏まえ、各教科の指導において主体的・対話的で深い学びが効果的になされるよう教材が工夫されていること。
- 2 基礎的・基本的な知識・技能が着実に習得されるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や、練習問題などによる繰り返し学習に関する記述の充実が図られているとともに、発展的な学習ができるよう配慮されていること。
- 3 生徒の興味・関心を喚起し、主体的な学習がなされるように配慮されていること。また、体験的な学習や問題解決型の学習が重視されていること。
- 4 生徒の学ぶ意欲を高め、探究する力を育むよう、他教科の関連する内容も取り入れ、学習内容が実生活・実社会に関連付けられるような記述や話題・題材の充実が図られていること。また、中学校との学習内容の円滑な接続への配慮・工夫がなされていること。
- 5 生徒が家庭でも主体的に自学自習できるよう、丁寧な記述、練習問題、文章量の充実等が図られていること。
- 6 学習指導要領に示していない内容については、学習指導要領の趣旨に照らして不適切なところ、生徒が学習する上で支障を生じるおそれのあるところがないように配慮されていること。
- 7 郷土福岡をはじめ、我が国の自然、歴史、文化等を愛し、守り伝えていくとともに、諸外国の人々の生活や文化を理解し、尊重する態度の育成に適したものであること。
- 8 本市の状況や学校の特性に適合したものであること。
- 9 教科用図書として、内容の組織、配列、分量、記述の正確性、印刷、製本等基本が踏まえられているとともに、生徒にとっても使いやすいような創意工夫がなされていること。

令和 7 年度使用教科用図書採択方針

(特別支援学校高等部)

福岡市教育委員会

I 基本方針

- 1 採択は、関係法令や文部科学省の作成する学習指導要領等を踏まえて、公正かつ適正に行う。
- 2 本市の生徒の実態に即し、かつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導に際して適切であるものを採択する。
- 3 「第 2 次福岡市教育振興基本計画」の趣旨及び当該計画策定後のさまざまな取組みを勘案したものを採択する。
- 4 「第 2 次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、人権教育の実践に適したものを採択する。

II 採択における留意点

- 1 文部科学省検定済教科用図書について
採択に当たっては、高等学校教科用図書採択方針に準ずる。
- 2 文部科学省著作教科用図書について
文部科学省著作教科用図書を採択する際は、文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和 7 年度使用）に掲載の図書の中から、生徒の実態に応じて採択すること。
- 3 学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書について
 - (1) 各教科の目標達成に結びつく適切な内容になっていること。
 - (2) 図書の採択に当たっては、下学年用の検定済教科書又は著作教科書の採択を十分考慮すること。
 - (3) 下学年用の検定済教科書及び著作教科書以外の図書を採択する場合には、下記の事項に留意すること。
 - ア 生徒の障がいの種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容（文字、表現、さし絵、取り扱う題材等）のものであること。
 - イ 「個別の指導計画」に基づく指導及び評価等に資することができるものであること。
 - ウ 内容が精選され、可能な限り体系的に編集されたものであり、基礎的な事項が適切に習得されるように配慮されているものであること。
 - エ 各教科等相互の関連が図られるとともに、具体的な内容が取り上げられるように配慮されているものであること。
 - オ 可能な限り学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動が行えるよう配慮されているものであること。
 - カ 進路指導等との関連が図られ、将来の社会的自立を図るために必要な事項が適切に習得されるよう配慮されているものであること
 - キ 特定の題材又は一部の分野のみを取り扱っている図書、参考書の図鑑類、問題集等は適切でないこと。

- ク 上学年で使用する事となる教科用図書との関連性を考慮するとともに、採択する図書
の間の系統性にも配慮すること。
- ケ 情報端末機器、ビデオテープ、CD、ジグソーパズル型などは適切でないこと。
- コ 全体の分量は、生徒の障がいの種類・程度及び授業時数からみて適切であること。
- サ 分冊本は採択しないこと、また、高額なものに偏らないこと。
- シ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式、材料などが生徒の障がい
の種類・程度からみて適切であること。
- ス 卒業後の職業的自立及び就労に結びつく内容・構成になっているもの。
- セ 人権感覚に配慮した教材であること。

教科用図書採択について

(福岡市立小・中学校、福岡市立特別支援学校小・中学部、福岡市立小・中学校特別支援学級)

採択権者 福岡市教育委員会

教育委員会会議において審議し採択

諮問
(調査指示)

答申
(報告)

福岡市教科用図書調査研究委員会

総数 30名以内

6回程度の委員会開催

* PTA 6

* 学識経験者 5

* 校長会会長[小・中・特・高] 4

* 指導主事 (基礎資料の説明) 14

* 行政職 (手続きの適正性を判断) 1

公開

第三者的立場の委員の増加

業務

研究会が作成した基礎資料を基に協議し、その結果を教育委員会に報告する。

市民・学校長の意見

研究会

(指導主事をリーダーに各教科ごと数人の教員で構成)
全ての教科書の基礎資料作成

教科書会社と関わりのない教職員を選出

業務

全ての教科書を調査研究し、教科用図書調査研究委員会で協議する基礎資料を作成する。

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 国語

□各教科共通の観点（国語）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切な教材の配列となっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。他教科と関連がある教材にはページ横に標示がある。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元の「てびき」をもとに生徒が自ら見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。交流のポイント明示されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭に学習内容と付けたい力が一覧で掲載されている。「てびき」に学習内容・進め方をまとめている。「書く」「話す・聞く」の領域で、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が設定されている。多様性やSDGsに関連した読み物や資料を扱った教材が掲載されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全面が配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。巻末には「言葉の力」が一覧化されており、必要に応じて参照させやすい。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	各教材に二次元コードでの動画・音声、問題演習、参考資料、思考ツール等のコンテンツがある。特に、デジタルコンテンツの使い方を説明したページが冒頭に折り込まれ、活用場面を紹介されていたり、巻末に「デジタルコンテンツ一覧」があり、家庭での予習や復習にも役立てられたりしている点が優れている。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□各教科共通の観点（国語）教科書会社名（三省堂）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切した教材の配列となっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元の「学びの道しるべ」で、学習内容や進め方、交流のポイントが示され、生徒が自ら見通しをもって学習が進められるように配慮されている。冒頭に「思考の方法」が図示され、生徒の問題解決に役立つ。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭に「領域別教材一覧」があり、学習活動と「つきたい力」が明記されている。「学びの道しるべ」で学習内容・進め方を確認できる。「書く」「話す・聞く」の領域で、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が設定されている。多様性やSDGsに関連した読み物や資料を扱った教材が掲載されている。	○	○	
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全面が配慮されている。	○	○	
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○	
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図が配置されている。自然科学、歴史、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。学習する読み方が巻末にまとめられており、必要に応じて参照させやすい。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの使い方を説明したページがある。各教材に二次元コードがあり、動画・音声、デジタルドリル・参考資料等のコンテンツが収録されている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。製本も丈夫で適切である。	○	○

□各教科共通の観点（国語）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切した教材の配列となっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方などの記述がみられる。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元冒頭の「学びナビ」、終末の「みちしるべ」に学習内容や進め方、交流のポイントが示され、生徒が自ら見通しをもって学習を進められる内容になっている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭に、学習内容と付けたい力、教材とSDGs17の目標との対応が一覧で掲載されている。「学びナビ」や「みちしるべ」で学習内容・進め方を確認できる。「書く」「話す・聞く」の領域で、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が設定されている。多様性やSDGsに関連した読み物や資料を扱った教材が掲載されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全面が配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。自然科学、歴史、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。「学びナビ」が巻末に一覧で掲載されており、必要に応じて参照させやすい。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの使い方を説明したページがある。各教材にも二次元コードがあり、動画・音声、参考資料が配置されている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□各教科共通の観点 (国語) 教科書会社名 (光村図書)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学年の生徒の発達段階に適応した教材の配列となっている。	○ ○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元終末に、学習の進め方や交流のポイントを示した「学びへの扉」、学習内容を示した「学びのカギ」が示されている。それらが特に見開きで配置され、一見して見通しをもって学習を進められる点が優れている。巻頭の「思考の地図」で生徒の問題解決に役立つ思考方法が図示されている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭に学習内容と付けたい力、教材とSDGs17の目標との対応が一覧で掲載されている。「学びへの扉」「学びのカギ」で学習内容・進め方を確認できる。「書く」「話す・聞く」の領域で、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が設定されている。多様性やSDGsに関連した読み物や資料を扱った教材が掲載されている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。「学びのカギ」が巻末に一覧で掲載されており、必要に応じて参照させやすい。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	巻末にデジタルコンテンツを学習活動でどう活用するかを説明したページがある。各教材にも二次元コードでの情報があり、動画・音声、問題演習・参考資料が配置されている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○ ○

□国語の観点 教科書会社名（東京書籍）

	国語の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して系統的に編集されている。	○	○
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	各学年で学習する漢字の一覧や文法のまとめが巻末に掲載されている。	○	○
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。	各教材において、生徒相互の対話を促す課題が示されている。	○	○
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	単元の扉にカラー写真とともに詩や短歌等が掲載されているなど、言語感覚を豊かにする内容がある。また巻末には「言葉を広げよう」で「明るさ」や「匂い」などさまざまなジャンルにおける言葉の表現一覧があり、学習の参考になるとともに、語彙を豊かにすることができる。	○	○
5	教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材、話や文章の種類などを調和的に取り扱うこと。特に、〔思考力、判断力、表現力等〕においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標に準じて、説明的文章や文学的文章、言語に関する事項などがバランスよく配置されている。また、日常生活につながる文章を掲載することで生徒の読書に親しむ態度を育成できる内容になっている。	○	○
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理して伝え合う内容を検討したり、聞きながら内容を聞き取って自分の考えを形成したり、話し合いを効果的に進め、お互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話す」「聞く」「話し合う」の学習がバランスよく配列してある。具体的な学習の流れも明示されている。例文に省略がなく、進度や個の能力に応じた活用ができる。	○	○
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章の公正を検討したり、記述の仕方を工夫して自分の考えが伝わる文章にしたり、書いた文章について捉え直して分かりやすい文章に整えたり、自分が書いた文章のよい点や改善点を見いだしたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々な文章を書く活動が設定されている。どのように学習を進めるか「学習の流れ」が明示されている。完成例に全文が掲載されているものが多く、進度や個の能力に応じた活用ができる。	○	○
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を把握したり、構成や叙述などに基づいて文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて意味付けたり考えたり、文章を読んで理解したことなどに基づいて自分の考えを形成したりする言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々なジャンルの教材が準備されている。単元末の「てびき」「言葉の力」ページで、自分の考えを形成し、目標と付けた力を確かめながら振り返ることができる。	○	○
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	様々な作品が教材として取り扱われている。「読書案内」では「戦争・平和」「福祉・共生」などジャンルやテーマごとに多数の本が紹介されている。またビブリオバトルや読書会などの読書活動も3学年を通して示されており、生徒の読書意欲を高めることができるようになっている。	○	○
10	〔知識及び技能〕に示す事項は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、新出漢字や音訓、語句は、教材文に示されたものを基本として指導できるようになっている。文法については、巻末に詳細な説明を掲載しており、繰り返し学習することができる。	○	○
11	〔思考力、判断力、表現力等〕の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。様々な古典作品や、能や人形浄瑠璃などの古典芸能も掲載されている。身近な昔話を古典の導入に取り上げている。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（三省堂）

国語の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して系統的に編集されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	各学年で学習する漢字の一覧や文法のまとめが巻末に掲載されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。	各教材「学びの道しるべ」において、生徒相互の対話を促す課題が示されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	短歌や俳句、慣用句・ことわざ・故事成語等、生徒が日頃触れることが少ない言語文化に関する単元が設定しており、言葉のもつ響きや美しさ、表現の豊かさを感じることができる内容になっている。巻末の参考資料に日本文学名作集として、古典文学の作品の冒頭部分が掲載されており、言語文化に関わりをもつ内容となっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材、話や文章の種類などを調和的に取り扱うこと。特に、〔思考力、判断力、表現力等〕においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標に準じて、説明的文章や文学的文章、言語に関する事項などがバランスよく配置されている。また、日常生活につながるのある文章を掲載することで生徒の読書に親しむ態度を育成できる内容になっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理して伝え合う内容を検討したり、聞きながら内容を聞き取って自分の考えを形成したり、話し合いを効果的に進め、お互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話す」「聞く」「話し合う」の学習がバランスよく配列してある。具体的な学習の流れも明示されている。考えを形成する際の手がかりとして、「思考の方法」が示されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章の公正を検討したり、記述の仕方を工夫して自分の考えが伝わる文章にしたり、書いた文章について捉え直して分かりやすい文章に整えたり、自分が書いた文章のよい点や改善点を見いだしたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々な文章を書く活動が設定されている。どのように学習を進めるか「学習の流れ」が明示されている。学習を進める上で、ポイントや例が示されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を把握したり、構成や叙述などに基づいて文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて意味付けたり考えたり、文章を読んで理解したことなどに基づいて自分の考えを形成したりする言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々なジャンルの教材が準備されている。単元末に「読み方を学ぼう」が掲載され、文章を正確に読み解き、深く味わうことができる。「学びの道しるべ」で学習を振り返ったり、学びを広げたりできる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	様々な作品が教材として取り扱われている。「小さな図書館」でジャンルごとに本が紹介され、図書館活用につなぐことができる。ビブリオバトルやブックトークなどの読書活動も示され、読書意欲を高められる。「私の読書体験」で作家から読書へ誘うような文章が掲載されており、読書に親しみをもたせる工夫がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	〔知識及び技能〕に示す事項は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、新出漢字や音訓、語句は、教材文に示されたものを基本として指導できるようになっている。文法については、巻末に詳細な説明を掲載しており、繰り返し学習することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	〔思考力、判断力、表現力等〕の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。また巻末資料には様々な古典作品がその一節とともに紹介され、能、狂言などの古典芸能、百人一首なども掲載されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□国語の観点 教科書会社名（教育出版）

国語の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して系統的に編集されている。	○	○
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	各学年で学習する漢字の一覧や文法のまとめが巻末に掲載されている。	○	○
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。	単元末の「みちしるべ」に、生徒相互の対話を促す課題が示されている。	○	○
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	短歌や俳句、故事成語など、各学年で取り扱い、系統的に学べる内容になっている。また、巻頭や巻末には言葉についてのコラムや外国語との違いを記載することで、言葉に関心をもてるように工夫が施されている。各学年「四季のたより」として季節ごとに短歌が掲載され、我が国の風土・文化に関連した内容も扱っている。	○	○
5	教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材、話や文章の種類などを調和的に取り扱うこと。特に、〔思考力、判断力、表現力等〕においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標に準じて、説明的文章や文学的文章、言語に関する事項などがバランスよく配置されている。また、日常生活につながるのある文章を掲載することで生徒の読書に親しむ態度を育成できる内容になっている。	○	○
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理して伝え合う内容を検討したり、聞きながら内容を聞き取って自分の考えを形成したり、話し合いを効果的に進め、お互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話す」「聞く」「話し合う」の学習がバランスよく配列してある。具体的な学習の流れも明示されている。冒頭の「学びナビ」で何を学ぶかが明確に示されている。	○	○
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章の公正を検討したり、記述の仕方を工夫して自分の考えが伝わる文章にしたり、書いた文章について捉え直して分かりやすい文章に整えたり、自分が書いた文章のよい点や改善点を見いだしたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々な文章を書く活動が設定されている。また、どのように学習を進めるか、どのような書き方がより説得力をもたせることができるのかが「学びナビ」「学習活動の流れ」に示されている。	○	○
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を把握したり、構成や叙述などに基づいて文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて意味付けたり考えたり、文章を読んで理解したことなどに基づいて自分の考えを形成したりする言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々なジャンルの教材が準備されている。単元冒頭の「学びナビ」で何をどのように学ぶかが示されている。単元末の「みちしるべ」で、自分の考えを形成し、学習を振り返るようになっている。	○	○
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	様々な作品が教材として取り上げられている。「広がる本の世界」で、関連作品が単元ごとに紹介されている。「読書への招待」では学年ごとに多様な文章を扱い、文学作品の歴史的背景やメディアの扱い方、ビブリオバトルの紹介など、社会生活につながる内容が取り上げられている。	○	○
10	〔知識及び技能〕に示す事項は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、新出漢字や音訓、語句は、教材文に示されたものを基本として指導できるようになっている。文法については、巻末に詳細な説明を掲載しており、繰り返し学習することができる。	○	○
11	〔思考力、判断力、表現力等〕の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。巻末資料には様々な学習した作品の別の場面や他の古典作品、狂言などの古典芸能も掲載されている。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（光村図書）

国語の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して系統的に編集されている。	○	○
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	各学年で学習する漢字の一覧や文法のまとめが巻末に掲載されている。	○	○
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。	単元末の「学びへの扉」に、生徒相互の対話を促す課題が示されている。	○	○
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	思考や感情を言語化するための「語彙ブック」が設けられている。短歌や俳句、故事成語など、各学年で取り扱い、系統的に学べる内容になっている。「季節のしおり」として各季節を表す言葉や表現が紹介されている。また、「書くこと」においては「言の葉ポケット」という表現の具体例が示されており、語彙を豊かにすることができる。	○	○
5	教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材、話や文章の種類などを調和的に取り扱うこと。特に、〔思考力、判断力、表現力等〕においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標に準じて、説明的文章や文学的文章、言語に関する事項などがバランスよく配置されている。また、日常生活につながる文章を掲載することで生徒の読書に親しむ態度を育成できる内容になっている。	○	○
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理して伝え合う内容を検討したり、聞きながら内容を聞き取って自分の考えを形成したり、話し合いを効果的に進め、お互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話す」「聞く」「話し合う」の学習がバランスよく配列してある。「学びのカギ」で身に付けるべき力が明示され、それを学習過程のどこで生かすかも明示されている。特に、それらを見開きで、一見して見通しをもてるように設計されている点が優れている。生徒が何をどう学ぶかがわかりやすい。	◎	◎
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章の公正を検討したり、記述の仕方を工夫して自分の考えが伝わる文章にしたり、書いた文章について捉え直して分かりやすい文章に整えたり、自分が書いた文章のよい点や改善点を見いだしたりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々な文章を書く活動が設定されている。「学びのカギ」で身に付けるべき力が明示され、それを学習過程のどこで生かすかも明示されている。生徒が何をどう学ぶかがわかりやすい。特に、それらを見開きで、一見して見通しをもてるように設計されている点、様々な語句表現や文章の描写を系統的に整理した「語彙ブック」が掲載されている点が優れている。	◎	◎
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を把握したり、構成や叙述などに基づいて文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて意味付けたり考えたり、文章を読んで理解したことなどに基づいて自分の考えを形成したりする言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々なジャンルの教材が準備されている。「学びのカギ」で身に付けるべき力が明示されている。「学びへの扉」で習得した力を学習過程のどこで生かすかが明示されている。特に、それらを見開きで、一見して見通しをもてるように設計されている点が優れている。学習をもとに自分の考えを形成し、学習したことを振り返る流れになっている。	◎	◎
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	様々な作品が教材として取り上げられている。福岡市を舞台とした作品が掲載され、読書への関心を促すことができる。様々なジャンルの作品を、テーマごとに紹介している。作品の冒頭を紹介して、続きを学校図書館等で読ませるような仕掛けや、ポップや読書掲示板づくり等も掲載され、読書生活の向上のための工夫がみられる。	○	○
10	〔知識及び技能〕に示す事項は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、新出漢字や音訓、語句は、教材文に示されたものを基本として指導できるようになっている。文法については、巻末に詳細な説明を掲載しており、繰り返し学習することができる。	○	○
11	〔思考力、判断力、表現力等〕の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。巻末には、教材に関連した古典作品が、その一節とともに紹介されている。百人一首や古典落語、能や狂言といった芸術作品も掲載されたりしている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 書写

□各教科共通の観点（書写） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年生徒の発達段階に適応した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数字、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、巻末の「書写活用ブック」で手紙やポスター、ノートの取り方やレポートの書き方などの書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	冒頭に単元の基本構成が示されており、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という流れを示し、対話的な学びを進める工夫がなされている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明が記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。UD書体について触れられている。左手で書く生徒を想定した道具の置き方が動画で触れられている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は見開きの資料として紹介されているため、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に発展的な学習内容として古典が取り上げられており、高等学校の学習内容であることが明示されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	示された手本の実演だけでなく、説明や関連資料を動画・静止画で二次元コードから読み取ることができる。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。	○	○

□各教科共通の観点 (書写) 教科書会社名 (三省堂)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年生徒の発達段階に適切した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	数字やアルファベットなどが混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、ポスターや新聞など書写学習の活用が取り上げられている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	冒頭に単元の基本構成が示されており、学習の流れを確認して学ぶことができる。学んだことの振り返りを記入する欄が設けられている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明がくわしく記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は1ページの資料程度で扱っているため、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展資料として「書の古典」があり、高等学校の学習内容であることが明示されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	示された手本の実演だけでなく、説明や関連資料を動画・静止画で二次元コードから読み取ることができる。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいうに、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。	○ ○

□各教科共通の観点（書写） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年生徒の発達段階に適切した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	図や写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。書写で身につけた力を活用して、新聞やポップ、レポートなどにまとめるような課題が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に「学習の進め方」というページが設けられており、学習の手順が明確に示されている。「話し合い活動を通した学び方」が示され、対話的な学びが意識されている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明が記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。UD書体について触れられている。左手での硬筆の持ち方動画が準備されている。特に、左手で書く際の道具の置き方が写真で掲載され、左手で書く生徒が認められ安心できる点が優れている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は「発展」と明示されて掲載されており、記載されている内容は三分の一ページほどの資料として掲載されているのみである。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に「芸術としての書道」という発展的な内容があり、高等学校での学習内容であることが明示されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	示された手本の実演だけでなく、説明や関連資料を動画・静止画で二次元コードから読み取ることができる。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。図書本体の横幅が大きいつくりとなっている。	△ ○

□各教科共通の観点（書写） 教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年生徒の発達段階に適切した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数学、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書やレポート等の書き方の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、ポスターやメモなど書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	冒頭に「学習の進め方」として、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という形を示し、書写の授業の中でも、友達と話し合ったり、成果を確かめ合ったりする対話を通して学習活動を進める工夫がなされている。	○	○
	配	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明が記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。UD書体について触れられている。左手での硬筆の持ち方動画が準備されている。特に、左手で書く際の道具の置き方が写真で掲載され、左手で書く生徒が認められ安心できる点が優れている。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は巻末に1ページ程度で、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配當時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配當時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。特に、実寸大の手本が多数収録されており、左右どちらでも使いやすいうように配慮されている点が優れている。	◎	◎
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に芸術としての書道が取り上げられており、高等学校での学習内容であることが明示されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	示された手本の実演だけでなく、説明や関連資料を動画・静止画で二次元コードから読み取ることができる。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。特に、「書写ブック(硬筆練習帳)」が付いており、外して別冊として使用することも可能なため、多様な学習形態に対応できる点が優れている。	◎	◎

□国語（書写）の観点 教科書会社名（東京書籍）

国語（書写）の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	巻末に「書写活用ブック」があり、教科の学習活動に活用できる。各学年に「生活に広げよう」において、手紙やはがき、願書や送り状など、日常生活の書式例が系統的に示されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2 文字を正しく整えて速く書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	1学年で楷書の学習を通して字形や配列を整えることと行書の基礎、2学年で行書の学習を通して読みやすく速く書くこと、3学年で文字の表現や効果について学ぶ構成になっている。	○	○
3 各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	学習したことを確かめながら硬筆で書く「生かそう」「確かめよう」という項目が設定されており、毛筆で学んだ点画の特徴を、硬筆でも確認できる内容になっている。	○	○

□国語（書写）の観点 教科書会社名（三省堂）

国語（書写）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	「やってみよう」で新聞や情報誌づくりが取り上げられ、教科の学習活動に活用できる。資料編において、手紙やはがき、願書や送り状などの書式の例が示されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	1学年で楷書の学習を通して字形や配列を整えることと行書の基礎、2学年で行書の学習を通して読みやすく速く書くこと、3学年で文字の表現や効果について学ぶ構成になっている。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	学習したことを確かめながら硬筆で書く「毛筆で学んだことを硬筆に生かそう」が設けられ、毛筆の学習が硬筆の書写の基礎であることが明記されている。	○	○

□国語（書写）の観点 教科書会社名（教育出版）

国語（書写）の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	メモ、レポート、ノート等の例が挙げられ、教科の学習活動に活用できる。「書式の教室」という章において、手紙やはがき、願書や送り状などの書式の例が示されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2 文字を正しく整えて速く書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	1学年で楷書の学習を通して字形や配列を整えることと行書の基礎、2学年で行書の学習を通して読みやすく速く書くこと、3学年で文字の表現や効果について学ぶ構成になっている。	○	○
3 各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	毛筆で学ぶ前に硬筆で「試し書き」する欄が設けられており、硬筆と毛筆を連動させて学習する構成となっている。	○	○

□国語（書写）の観点 教科書会社名（光村図書）

	国語（書写）の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	国語やその他の学校生活に関連した作品例が掲載されている。「日常に役立つ書式」という章において、手紙やはがき、願書や送り状など書式の例が示されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	1学年で楷書の学習を通して字形や配列を整えることと行書の基礎、2学年で行書の学習を通して読みやすく速く書くこと、3学年で文字の表現や効果について学ぶ構成になっている。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	毛筆の学習「生かそう」で、学習したことを生かして、対応する「書写ブック」のページで硬筆で書く内容が設定されている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（地理）

□各教科共通の観点（地理） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各章や各節の単元を貫く問いが、教科の本質に迫るもの（なぜ疑問が中心）になっており、生徒が考える上で着想を得やすい内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各単元の最初に小学校で習ったことが記載されており、円滑な接続を意識したつくりになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科・他分野との関連を示す記載がある。また、第2編第1章の単元配置が具体的な内容（寒い地域の暮らし等）を行った後に、全体的な内容という順序の配列になっており、工夫がみられる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「スキルアップ」では統計地図の読み取り方など地理的情報を活用できるように内容が構成されている。（P.56・57）また、各章末に「まとめの活動」があり、対話的な活動や自分の言葉で課題の解決に取り組むコーナーもあり、言語活動の充実が図られている。	◎	◎
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「世界の諸地域」「日本の諸地域」の導入ページにおいて、課題の設定場面を対話形式でわかりやすく提示し、生徒自身が課題をつかめるように配慮されている。また、「まとめの活動」が各単元の終末に設定され、「見方・考え方」を働かせた探究活動が豊富に設けられている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	本文を中心に互いの個性や価値観などの違いを理解しようと促す配慮がなされている。また、持続可能な社会の実現に向けての視点で構成される本文や特設コラムには、人権や文化を軸に多文化理解を促す内容が見られる。多様性理解の助けがあり、学習の展開においても多角的な意見が表出しやすい。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	地域調査の手法のページは内容が1つの地域を軸に構成されている。これにより、単元の見通しが立ちやすく、配慮されていると考える。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各ページごとに必要な図等が適切に配置されている。学習の終末に図から読み取れることを説明させるなどの活動を指示している。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について本文としっかりと区別されており、生徒の過重な負担にならないように配慮されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「導入・展開・まとめ」の学習段階に応じて学びのシーンに合ったQRコンテンツが随所に設定されており、学習を広げることが可能である。	◎	◎
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、色彩も配慮されている。教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、軽量化された強度の高い紙を使用し、過度な重量にならないように配慮されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（地理） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各ページに配置された学習課題の設定や確認を促す記載から、生徒が関心・意欲に沿って知識・技能を習得できる内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	小学校で学習した内容と活用してきた社会科の見方・考え方を振り返るページが設けられている。接続を意識したページでは、振り返りと中学校地理的分野を展望することができる。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	ページの下部に社会科の他分野（歴史的分野・公民分野）との関連を示す記載があり、3分野を関連させた学習が可能である。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各ページに考えをまとめたり、議論を促したりする問いが設定されており、学習を振り返る中で、言葉で表現したり対話したりすることが可能である。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	見開き1ページごとに「学習課題」（学習の見通し）と「確認/表現」（振り返り）が設けられており、生徒の主体的な学習を促し、課題解決に向けて学習を進めることが期待できる。また、章や節の最後には、学習の振り返りを3ステップに沿って段階的に深めることができる。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	他国を尊重したり、国際的な視座から情報を読み解いたりする学習が組まれているため、多様性を受容する態度の育成ができる。また、第2編「世界のさまざまな地域」では、各章のまとめでSDGsに関する内容が設定されており、他にも特設ページにて持続可能な社会の実現に向けた6テーマ（計12ページ）が紹介しており、SDGsを意識できる内容になっている。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	地域調査の手法のページは内容が1つの地域を軸に構成されている。これにより、単元の見通しが立ちやすく、配慮されていると考える。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	基礎的・基本的な知識や技能の着実な定着を図るとともに、コラムなどを挿入することで個人やグループでの活動に対応している。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	特設ページとして「クロスロードラインナップ」があり、より学習を深めることが可能である。章末のまとめ後に配置しており、それ以外の内容との区別が明確である。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツがあり、学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで利用することができる。（まなびリンク）	○	○
5	印刷、製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○	○

□各教科共通の観点（地理） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。			
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。			
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。			
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。			
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。			
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。			
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。			
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。			
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。			
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。		
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。			
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。			
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		

□各教科共通の観点（地理） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の内容に準じた構成になっている。教科の目標達成に結びつくことができる内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	小学校の学習内容とのつながりが示されているページがあり、接続を意識した構成になっている。生徒の発達段階を想定した疑問も設定されている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校各学年での学習や他教科・他分野との関連について適宜記載されており、相互に連携・関連させた学習が可能である。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	地理的情報を読み取るなどの地理的技能を「スキルUP」で系統的に身につけることが可能である。また、単元の終末に「議論してみよう」というコーナーがあり、地域の課題などを話し合う場面が設定されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章のすべての節で学習課題と課題解決の手掛かりとなる地理的な見方・考え方、その見方や考え方を働かせる問いと課題に対するまとめの活動が提示されている。このため、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を前提とした問題解決的な学習に取り組みやすい。また、主体的・対話的で深い学びが促されるように思考ツールの紹介や活動の例示がなされている。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	P122・123「多様性を尊重する社会づくり」など、学習内容をより深めていくことをねらった記載があり、多角的な意見の表出が期待でき、互いの多様性を認め合いながら学習を進めるのにふさわしい内容である。また、今日的な課題でもあるため、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第3編第1章と第4章では、地域調査についての記載が多く、調査結果をまとめ、考察・構想までを確実に行えるようになっている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりするようなことがないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各ページごとに必要な図等が適切に配置されている。また、文章を少なくし、写真や図を多く用いる工夫がなされている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容に関しては「地理プラスα」と示されており、それ以外の内容との区別が明確である。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	見開きタイトルの横にQRコンテンツがあり、家庭学習や自学自習の支援に対する配慮がみられる。ポートフォリオや小テスト、イントロダクションムービーなど多数あり。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○	○

□社会（地理的分野）の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

社会(地理)の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。		冒頭(P.6)で「地理的な見方・考え方」をわかりやすく紹介し、まとめの活動で『「見方・考え方」を働かせて探究課題に答えよう』を設け、探究課題を解決するために課題を追究したり解決したりする活動を促す工夫が見られる。また、「地理的な見方・考え方」を活用するコーナーを本紙中にまんべんなく配置した内容になっている。	◎	◎
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。		調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができるように、ウェビングマップ等の思考ツールを活用することを例示している。また、技能の習得を狙った「スキルアップ」では、「読み取る」「集める」などの基礎的・基本的な内容から、「まとめる」といったやや発展的な内容も見られる。領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	◎	◎
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。		第3章「日本の諸地域」の学習において、追究する視点を示しつつ、多面性も重視した記述になっている。また、終末における「まとめの活動」では「みんなでチャレンジ」において、グループと個人の活動の機会が適切に設けられている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。		「世界の諸地域」の内容中に日本との関連や日本の視点など、生徒が主体的に課題に向かう一助となり得る記載がある(P129)。また、持続可能な社会の実現に向けて環境や防災などの視点で書かれたコラムがあり、よりよい社会の実現に向けた取り組みを考える上で効果的である。郷土の資料として「日本の諸地域」で各都道府県章がページ下段に示されており、自国に対する関心を高める一助となると考える。	◎	◎
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。		P8など各章のはじめのページに「小学校の社会で習ったことば」というコーナーがあり、小学校の社会科との有機的な関連を図ろうとする工夫が見られる。また、小学校で学んだ内容を写真を用いてふり返りやすくする内容にもなっている。	○	○
地理的分野 1	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境と環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。		「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」の地域的特色を追究するための問いが生徒にとってわかりやすく示されている。また、各単元末にある「まとめの活動」では、地理的な見方・考え方を働かせて課題を主体的に解決していく構成であることから、思考力・判断力・表現力の育成にもつながる。さらに、「スキルアップ」というコーナーが全31か所設けられており、生徒が地理的技能を身に付けることが可能である。	◎	◎
地理的分野 2	日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。		第3章の導入部分(P183)の下部に地域ごとの視点が一覧表で示されており、わかりやすい。①～⑤の内容を各地方ごとに必ず一つは採用している。	○	○

□社会（地理的分野）の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

社会(地理)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	見方・考え方を働かせた学びや資料の活用ができるように「地理の窓」や「地理の技」といったコーナーが設定されており、国際社会を意識した多角的な立場から記載されている。第2章「世界の諸地域」の中では、六つの各州で地球的課題を取り上げ、SDGsと関連して取り扱いがされている。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	資料読み取りの技能を高めるための工夫として、掲載している統計資料に合わせて問いが出題されたり、課題が提案されたりしているが、教科書を開くことで生徒に生じる疑問に対する回答が記載されている場面も見られる。領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	章末や節末に振り返りを促すページやコーナーが設けられている。生徒に思考・判断を求めるものや学習したことを活用してまとめるなど、対話的な学習活動を求めるものが提示されている。また、SDGsに示された17の目標との関連付けがされている。	◎	◎
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	P171より始まる「日本の諸地域」の単元では、地域社会が抱える課題等を捉えやすくする工夫として、人々の姿が焦点化されている。これにより、郷土への関心や参画への意欲喚起が見込める。地域のあり方では、様々な地域を例示しながら自分たちの地域の課題に向き合うことが求められ、主体的な社会参画が促されている(P278)。また、福岡市についての記述が本文に取り上げられている(P174)。	◎	◎
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	「日本の諸地域」の中で、持続可能な社会の実現が意識され、実現に向けて解決すべき課題の提示や、解決に向けて取り組む人々が紹介されている。また、3分野の連携が関連マークで示されており、それぞれの視点から防災について取り上げるなど、公民的分野に向けた学習の展開が意識されている。	○	○
地理的分野1	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境と環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	「地理の技」というコラムが適宜設けられており、読図などの地理的技能を習得することで、地域的特色等を理解する一助となっている。また、地理的な見方・考え方を働かせて考察したり、説明したりする工夫として、各章に一つ程度資料読み取りの問いが設けられている。「世界の諸地域」では、日本との関連について記載があり、日本との関連を意識しながら、課題に沿って学習を展開できる。	○	○
地理的分野2	日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方一つ選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	第3章の導入部分(P171)の下部に地域ごとの視点が一覧表で示されており、地域ごとの主なキーワードも明示されている。①～⑤の内容を各地方ごとに必ず一つは採用している。	○	○

□社会（地理的分野）の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会(地理)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	巻頭7で「地理的分野の学習の全体像」が示され、巻頭8では「地理的な見方・考え方」について大きく明示されていることが特徴である。また、各章のはじめには「単元を貫く問い」を例示しており、まともにおいて、その問いがどの見方・考え方を働かせたものなのかを説明している。さらに、見方・考え方を深めるため、他地域との結びつきや位置や分布などを「見方・考え方アイコン」として表示している。	◎	◎
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	各ページに豊富な資料を掲載しており、その資料の扱い方なども、「技能をみがく」というコーナーにおいて丁寧に説明している。また、QRコンテンツを活用することで、必要な技能の習得を助けることができる。領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	P126・127オセアニア州のまとも「節の振り返り」などにおいて、「他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか」という問いを例示し、生徒に議論を促す工夫が見られる。各章に適切な問いが設定されているため、生徒の興味関心に即して課題を見出すことができる。	◎	◎
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	SDGsに関する具体的事例が多数掲載されており、生徒が多様な考えをもち、対話的な学習を展開しやすい内容になっている。特に、第4部(P283)において、地域社会の在り方を追究する単元が設けられており、課題を「自分ごと」として捉え、主体的に社会に参画する態度を養える内容になっている。また、福岡市についての記述が本文に取り上げられている。(P176)	◎	◎
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で学習した内容を振り返ることができるように、絵などを効果的に使っている。地理的分野の各所で、持続可能な社会の実現に向けた内容と関わりをもたせることで、公民的分野への展開が意識されている。また、小学校との関連や地図帳との関連マークが記載されており、有機的な関連が図られている。	◎	◎
地理的分野1	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境と環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	章の導入で「課題追究で注目する視点」に関連する写真を見開きで大きく取り上げており、生徒が課題を主体的に追究、解決していくための一助となっている。また、各見開きページの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、そして単元末の「学習を振り返ろう」というように、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、生徒が課題解決的な学習を自ら進めることができる構成になっている。	◎	◎
地理的分野2	日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	第3章の導入部分(P166)の下部に地域ごとの視点が一覧表で示されており、わかりやすい。①～⑤の内容を各地方ごとに必ず一つは採用している。	○	○

□社会（地理的分野）の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

社会(地理)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	巻頭口絵の見開きで「地理的な見方・考え方」についてわかりやすく解説しており、本文ページでは学習課題とともに5つの「地理的な見方・考え方」のうち1つを必ず提示し、生徒が繰り返し意識することで、「見方・考え方」を自ら働かせることができるように工夫している。また、持続可能な社会に関連する内容が各所に掲載しており、自分ごととして持続可能な社会について考えられるように工夫している。	◎	◎
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	資料の扱い方や写真の読み取り方を丁寧に解説している。また、「スキルUP」のコーナーなどで効果的に調べたりまとめる技能を身につけられるようになっている。領土問題を扱う単位については、適切に記載されている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	P129の「まとめとふり返り」で「あなたの考える多文化社会って？」というテーマで議論させるように促すなど、多文化共生について配慮した内容になっている。また、各章末に「議論してみよう」というコーナーで「構想」に取り組むことで、主体的・対話的で深い学びを実現しつつ、議論する力を養うことができる。	◎	◎
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	第3編第4章「地域の在り方」の単位では、地域の課題を見つけ主体的な課題解決を促し、未来創造会議を開いてプランを発信し、地域の方々からのコメントを踏まえてプランを改善するという内容になっており、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されている。また、他国の文化を尊重する記載も見られる。	○	○
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	「学習のはじめに」や本文、脚注の連携コーナーにおいて小学校で学習した内容を振り返ることができる。また、生徒が歴史的分野や公民的分野に関連する事項を確認、活用することができるように工夫されている。ニュージーランドにみる多文化社会(P122)の内容では、道徳との関連(相互理解)も見られる。	○	○
地理的分野1	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境と環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	単元の導入からまとめまで、生徒が単元全体の見通しをもち、学習課題を追究していくことができる授業デザインになっている。また、地域の諸事象や地域的特色を捉えさせ、地理的技能を身につけさせる工夫が随所に見られる。さらに、SDGs、多様性の尊重、ウクライナ侵攻などの現代的諸課題を多く扱っており、教科書全体を通して生徒が興味・関心をもち、多様な地理的事象に対する理解を深めることができる。	◎	◎
地理的分野2	日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	第3章の導入部分(P169)の下部に地域ごとの視点が一覧表で示されており、地域ごとの社会的課題も明示されている。①～⑤の内容を各地方ごとに必ず一つは採用している。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（歴史）

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	第1章で、小学校までの学習（主な人物や出来事）をイラストで振り返ることができる内容であり、円滑に接続できる。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科・他分野との関連をマークで示し、系統的・発展的な指導ができる。QRコンテンツを読み取って、他教科の教科書を参照できるページもある。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章末に「まとめの活動」があり、対話的な活動や基礎的・基本的な技能を身につける活動、歴史的事象の見方・考え方を活用して考察する活動など、言語活動の充実が十分に図られている。	◎	◎
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	導入・まとめの全てのページに「みんなでチャレンジ」が36か所設けられ、主体的・対話的・活動的な学びに取り組むことができ、見方・考え方を働かせる視点の例もマークで示されている。また、各章のまとめには9種類の思考ツールが掲載され、思考を整理し、課題解決学習が進めやすくなっている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	教科書全体を「人権・平和」「伝統・文化」「環境・エネルギー」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸問題を理解しながら課題解決に向かう学習内容が充実している。また、第7章ではSDGsを取り上げ、課題解決に向かう態度を養うことができる。同問題では、中世の被差別民や近世の身分差別、近代以降の部落差別を適切に捉えることができる。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第1章第2節「身近な地域の歴史」では、インターネットを利用した調査における注意点や著作権法等に触れており、指導上の配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各単元ごとの学習内容に応じて、必要なことを読み取るための史料、写真、地図等が適切に配置されている。また、本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルが設けられ、学習の深まりに有効である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「もっと知りたい」では、本文との関連が深い内容をさらに深めたり、広げたりなど違う視点で捉えることができ、見開きページで学習できるようにしている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「導入・展開・まとめ」の学習段階に応じて学びのシーンに合ったQRコンテンツが随所に設定されており、学習を広げることが可能である。	◎	◎
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、色彩も配慮されている。教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、軽量化された強度の高い紙を使用し、過度な重量にならないように配慮されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1章では、小学校の学習を振り返り、視覚的に見方・考え方を発展させる方法が学べる。また、小学校の学習で登場した人物がマークで示されている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっているため、他教科・他分野と関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習課題と対応させた毎時間の「確認」と「表現」や各章末の「学習のまとめと表現」で、時代の特徴を自分なりの言葉で説明する活動が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	導入「学習のはじめに」で資料が大きく掲載され、生徒が自ら資料を読み取りながら、学習を進めることが可能である。見聞き1ページのタイトルは、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題をおき、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができ、主体的・対話的で深い学びを実現することが期待できる。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「歴史を探ろう」で、大戦期に生きた多様な人物に焦点を当て、時代像や個人の生き方について考察が深まるよう構成されている。女性やアイヌ民族・沖縄がおかれていた立場についても理解を深めるよう留意されている。同和問題では、中世のけがれについて触れ、歴史的・科学的な認識が深まるよう配慮されている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第1章に「地域調査の手引き」が7ページ紹介されており、観点や学び方の手掛かりが示されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりするようなことがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本編ページの各資料には通し番号が付き、本文中にも資料との関連がわかるよう資料番号が挿入されている。難解な用語等には、側注や「◆解説」による説明を設け、生徒の理解への一助となるよう配慮されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	本文の学習から興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」が19あるなど、個人やグループで学びを深めていくことができる構成になっている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」などのQRコンテンツを通して、個別最適な学びに対応している。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○ ○

□各教科共通の観点（歴史） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	第1章で、小学校で学んだ主な人物や出来事を振り返るイラストや年表が設けてあり、円滑に接続できる。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「タイムトラベル」や「学習を振り返ろう」の作業学習で「歴史的な見方・考え方」を働かせることを促すことで、社会的事象を多面的・多角的に考えることができる。	◎ ◎	◎ ◎
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっているため、他教科・他分野と関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いや学習課題を設けている。毎時間の「確認しよう」「説明しよう」で、言語活動を備えた学習の振り返りの場面が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	教科書の冒頭に「教科書を活用した学び方」「タイムトラベルの学習のしかた」が掲載されており、生徒の興味・関心をいかに、主体的・対話的で深い学びが促されるように配慮されている。また、5か所に設置された「アクティブ歴史」および思考ツール全4か所では、協働的な学びができるよう提示されている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「持続可能な社会の実現」に向けて、巻頭・巻末にコラム「未来に向けて」が設けられており、全63テーマのうち「人権・多文化」が22テーマ、「平和・安全」が15テーマ設置されている。同和問題は、中世の頃から近世・近代の歴史的な事象を網羅している。また福岡市人権8課題にあたる高齢者や子ども、女性、外国人などについても触れられている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第1章第2節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、地域の方々の協力を得て調査を進める機会を設けている。	○ ○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○ ○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○ ○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習内容が定着するよう「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	当時の社会の様子について掘り下げる、特設「歴史を探ろう」が11テーマ設けられている。本文との関連を「主な関連事項と関連ページ」として明示している。	○ ○
5	印刷・製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツが各章に設けられており、イラストや用語解説・動画をはじめ、タイムトラベルや他分野教科書リンクなどの内容を利用できる。	○ ○
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用されている。図版が色で囲まれており、どこまでが同一の図版か読み取りやすい。	○ ○

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（山川出版）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	第1章で、小学校で学習した「歴史を大きく変えた人物」を基に時代を区分することを考えさせるなど適応している。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各章の扉に帯年表があり、その時代の日本と世界の大きな流れが一目で分かり、学習指導要領の目標・内容に沿って、歴史の流れを理解できる。	◎ ◎	◎ ◎
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	全体を通して、小学校で学んだ人物・歴史の知識をふまえ、系統的・発展的に学べるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	博物館や資料館で詳しく調べることができるように、QRコンテンツが記されている。また、各章のまとめでは、各時代の特色を表現する問いやパフォーマンス課題が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	多様な体験的な学習方法として、文献調査・フィールドワーク・インターネット検索・聞き取り調査などを第1章に設けている。イラストで対話的な学びを想起させ、「自学・とも学」を効果的に行うことができるような内容になっている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	豊富で多様な課題や発問が用意されており、生徒自身による学びが促され、生徒一人一人が課題を追究できるように配慮されている。また、中世の日本において、「琉球の歴史と文化」「アイヌ民族の歴史と文化」について、特設ページにて記載されている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	「身近な地域を調べよう」では、レポートのまとめ方で著作権法での禁止事項に触れており、安全面や注意事項への配慮がなされている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	史料は一次資料が多く掲載されている。特に、写真はサイズも大きく明瞭でとても見やすい。高校で使用する史資料を口語体にしたたり、各単元の基本の色彩を日本史と世界史でわけており、中学生が理解しやすいように配慮されている。	◎ ◎
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	本文のテーマでは扱いきれない内容が「歴史へのアプローチ」で示しており、多面的・多角的に考察する力を養い、幅広い知識を身につけることが可能である。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツが記載されており、博物館や資料館のウェブページをはじめ、動画などの資料を閲覧することができる。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文のフォントサイズがやや小さく、1ページ当たりの文字数がやや多い。印刷は鮮明で、UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用されている。	○ ○

□各教科共通の観点（歴史） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	第1章「小学校で学んだことを思い出してみよう」のコーナーでは、小学校までの学習をイラストで振り返ることができる内容であり、円滑に接続できる。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	◎	◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（自由社）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	内容の程度は、発達段階に応じ、円滑に接続している。また、発達段階に即した文章表現になっている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各章の冒頭に、小学校で学んだ人物を中心とした年表がある。また、例題を通して年代の表し方などを学ぶことができる。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章のまとめに、調べ学習・復習問題などのページが設けられ、各時代をふりかえることができ、対話形式で時代を捉えやすい内容になっている。	○ ◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「対話とまとめ図のページ」や「時代の特徴を考えるページ」「調べ学習のページ」が各章の最後に設けてあり、それらを活用して意見交換や議論を促すことが可能である。	○ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	章の見出しで「謎解き」の発問があり、学習によって謎が解けることで、学習内容を身に付けることができる。また、「チャレンジ」という課題が毎時設定しており、生徒一人一人がより深い学習を行うことが可能である。アイヌ民族や琉球についての記述が見開き1ページで記載されている。	○ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	序章第3節「地域の歴史を調べる」において、4つの調査班で堺市の歴史を調べた内容が紹介されている。	△ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけつつ、全体の調和はとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習内容に応じた史料・写真などが掲載されている。注釈が豊富であり、生徒の理解への一助となるように配慮されているが、地図が簡略化されているものも見られる。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「もっと知りたいコラム」では、本文と関連のある人物・出来事などについて、見開き1ページで学習できるように区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの配置は見られない。	△ △
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインを採用している記載は確認できないが、読みにくさ・見にくさは感じない。	○ ○

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（育鵬社）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	序章で、小学校で学んだ主な人物・出来事を振り返るイラストや時代区分が設けてあり、円滑に接続できる。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科や地理的分野・公民的分野との系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各見開きページの終わりに、学習した内容を確認するための「確認」「探究」があり、論述形式でまとめたり、自分の考えを表現するなど、言語活動に取り組めるようになっている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	見開きでの学習課題に沿って学習をすすめ、まとめることができるように配慮されており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図りやすい。また、教科書冒頭「主体的・対話的で深い学びを支える教科書の構成」で説明されている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「外国人が見た日本」（P200、201）では、外国人の立場から日本の歴史や文化を考えさせることができる内容になっている。また、「これからの世界と日本」（P270～）では、現代の諸問題について課題を探究し、解決策を話し合う活動を設けている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	縄文土器をつくる体験活動についての記載がある。火の使用に対する安全・衛生面の配慮の記述までは見られない。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文・資料は関連をもたせて用意されており、適切に配置されている。考古学と科学技術との関連を取り上げている内容が見られる。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	節の最後などに「歴史ズームイン」を設け、本文ページとは区別された発展的な学習内容として明示されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	目次と各章冒頭にQRコンテンツが記載されており、自ら動画を閲覧できたり、情報を収集できるような工夫が見られる。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文の分量がやや多く、所々「ルビ」がないなどやや一貫性がないように感じるが、資料は鮮明で見やすく印刷されている。	○ ○

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（ 学び舎 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1部の前に小学校の学習を振り返り、調べ学習の方法を体得できる。また、例題を通して年代の表し方が身につくよう構成されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「各分野の目標、内容、内容の取扱い」をふまえ、基礎的・基本的な事項が押さえられている。中央の政治史より庶民の視点からの歴史の色彩が強い。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習内容の構造化と焦点化を重視した構成になっており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	部の学習のまとめ（6カ所）では、時代の特色や転換をふり振り返りながら大観し、各時代の特色を多面的・多角的に考察して自分の言葉で表現できるようにしている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	庶民に視点をあてたタイトルやこれまであまり見たことのない資料や写真、関心を引き出す学習課題が特色である。歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して、各時代の特色を理解できるように工夫されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	冒頭に見開き1ページで現代の沖縄「慰霊の日」を紹介している。平和と人権を求め、強権に抗した女性をはじめ、生産や懸命に働く人々、生活の困難を乗り越えようとする人々の姿を多く描いている。沖縄やアイヌの人々の記述も豊富である。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	火おこしや糸紡ぎなどの体験学習を詳しく紹介している。のこぎりや彫刻刀等が必要であり、安全面に配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	内容が逸脱していたり、過重な負担になったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置き、5つの章で61テーマを設定している。第2次大戦後の現代史学習では21世紀までテーマを設定している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	見開き1ページの中に地図が掲載され、地図で位置を確認するよう構成されている。しかし、本文中にゴシック文字が使用されていない。また、参照指示がなく、本文と資料の関連を図りにくい。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	章末に「歴史を体験する」の特設ページが7カ所設定され、様々な体験学習が紹介されている。また、討論の方法など、学習の仕方も紹介している。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの配置は見られない。	△	△
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	A4判で、豊富な資料と記述を盛り込めるようにしている。特に図版は、大きく鮮明で、詳しく読み取ることができる。カラーユニバーサルデザインを使用している。	○	○

□各教科共通の観点（歴史）教科書会社名（令和書籍）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標達成に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	高等学校レベルの内容も見られ、発達段階がやや高めの内容とを感じるが、逸脱は見られない。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領の内容及び内容の取り扱いに示す事項は不足なく取り上げられている。歴史的分野の内容が大変詳しく取り扱われている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「小学校で学んだ人物と文化」が序で取り上げられているが、文字だけの記載であり、配慮されているとはいえない。	△	△
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語活動を促す課題や「考えよう」という発問が見られる。また、P.262、263に「新聞にまとめてみよう」という特設コーナーが設けられており、配慮がなされている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	P.261「展覧会に行こう」では、既習内容をふまえたレポートの作成方法やフィールドワークの方法について示されている。また、P.394に「歴史について議論しよう」では、学んだ知識を活用し、学びを深める方法が示されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	語句全般の難易度がやや高く、専門的な知識が身につくと思われる。一方で、個に応じた指導への配慮事項としては不足している。	△	△
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	P.261「展覧会に行こう」では、マナーやルールの遵守に触れている。また、「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」が記載されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習内容を超えた事項について、目標や趣旨の逸脱は見られない。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量が多く（全463ページ＋資料）、授業時数に収められるかが懸念される。	△	△
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	全体の分量が多いため、内容の取扱いに示す事項の配分がやや少なく感じるが、逸脱は見られない。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	天皇に関する記載が多く見られるが、内容は網羅している。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真や図が関連される箇所に配置されているが、本文中のものは全て白黒（カラーの写真や図は巻末にまとめて示されている）であり、有効に働くとはいえない。	△	△
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	章中のコラムが本文と関連しており、発展的と言える。章末では、特色を表や言葉でまとめる場面が設定されており、工夫が見られる。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの配置は見られない。	△	△
5	印刷製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字サイズが小さい。また、1ページあたりの文字数が多く、全ての生徒が使用しやすいとはいえない。	△	△